

令和6年度 第2回越前市市民協働推進会議

日 時 令和7年2月13日(木)

午後3時15分～4時30分

会 場 市民プラザたけふ3階 中会議室1

次 第

1 座長挨拶

2 令和6年度事業公開報告会及び令和7年度事業公開審査会について

- (1) 事業制度概要
- (2) 報告対象事業、報告の方法
- (3) 審査対象案件、審査の方法
- (4) 当日のスケジュール

令和7年3月9日(日) 市民プラザたけふ 4階 多目的ホール

3 その他

- ・審査員の選任 ほか

越前市市民協働推進会議委員名簿（令和6年度～令和7年度）

（敬称略・順不同）

	氏 名	経 歴	備 考
1	いとう ともゆき 伊東 知之	・ 仁愛大学地域共創センター長 ・ 仁愛大学人間生活学部 子ども教育学科教授	令和6年度～令和7年度 市民自治推進委員会委員
2	のむら たかまさ 野村 卓正	・ 仁愛大学人間生活学部 健康栄養学科教授	令和6年度～令和7年度 市民自治推進委員会委員
3	のむら みゆき 野村 みゆき	・ 越前市エコビレッジ交流センター主任	令和6年度～令和7年度 市民自治推進委員会委員
4	たなか しげこ 田中 滋子	・ ロハス越前 代表 ・ 特定非営利活動法人 のっぽえちぜん副理事長	令和6年度～令和7年度 市民自治推進委員会委員
5	とみなが よしふみ 富永 良史	・ 発創デザイン研究室 代表	学識経験者
6	たなべ かいちろう 田邊 嘉一郎	・ あそぼっさ越前市！ハッピープロジェクト チーム 代表 ・ 特定非営利活動法人 のっぽえちぜん理事	市民活動実践者
7	う の じゅんこ 宇野 純子	・ 武生商工会議所女性会会長	経済団体を代表するもの （団体からの推薦）
8	たにざき まさひろ 谷崎 将大	・ 一般社団法人武生青年会議所 指名理事	公益団体 （団体からの推薦）
9	はしもと なおこ 橋本 尚子	・ 越前市職員（総務部長）	行 政

市民活動に関する補助金について

■協働たねまる活動補助金

項 目	内 容
目 的	市と協働で継続的に取り組む公益的な社会貢献活動等を行う市民活動団体を支援することで、市民と行政の協働によるまちづくりと団体活動の自立及び活性化、市民活動の拡充、市民活動に対する市民理解の推進を図る。
対象団体	市内に主たる事業所または活動拠点があり、市内在住者又は市内に通勤、通学する人の5人以上で構成し、かつ1年以上の活動実績のある団体。（イベント等のための実行委員会は対象外）
要 件	原則、3年以上継続して活動すること。
補助率	事業費（補助対象経費）の5分の3以内
補助限度額	1年目／30万円 2年目／20万円 3年目／10万円

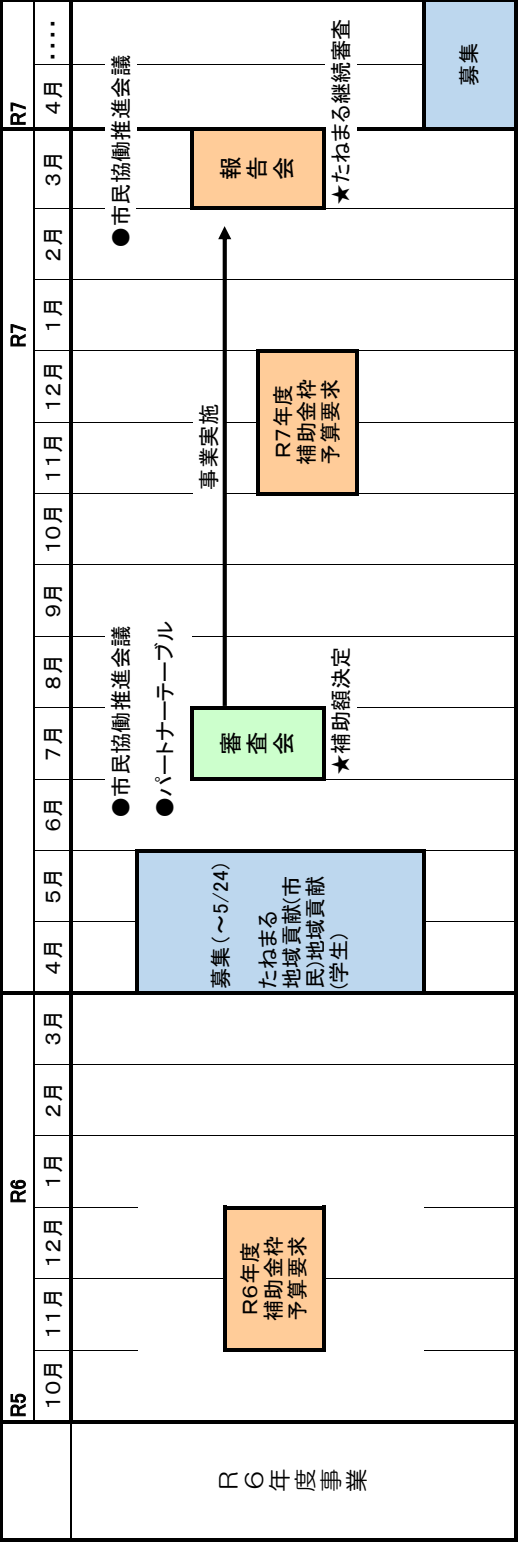
■地域貢献活動支援補助金

項 目	内 容
目 的	自由な発想や若い感性で行うまちづくり活動を支援することで、その活動を通じ、まちづくりなどで活動することができる市民を育成し、地域の活力を向上させる。
対象団体	① 市民団体 市内に主たる事務所または活動拠点があり、市内在住者又は市内に通勤、通学する人の5人以上で構成する団体。 ② 学生団体 事業等の実施に際し、担当教員等の指導を受けることができ、代表者が成年である学生団体。（未成年のみで構成される学生団体の場合は、担当教員等を代表者とするもの）
要 件	市内で活動すること。
補助率	事業費（補助対象経費）の5分の3以内（①）、10分の10以内（②）
補助限度額	10万円

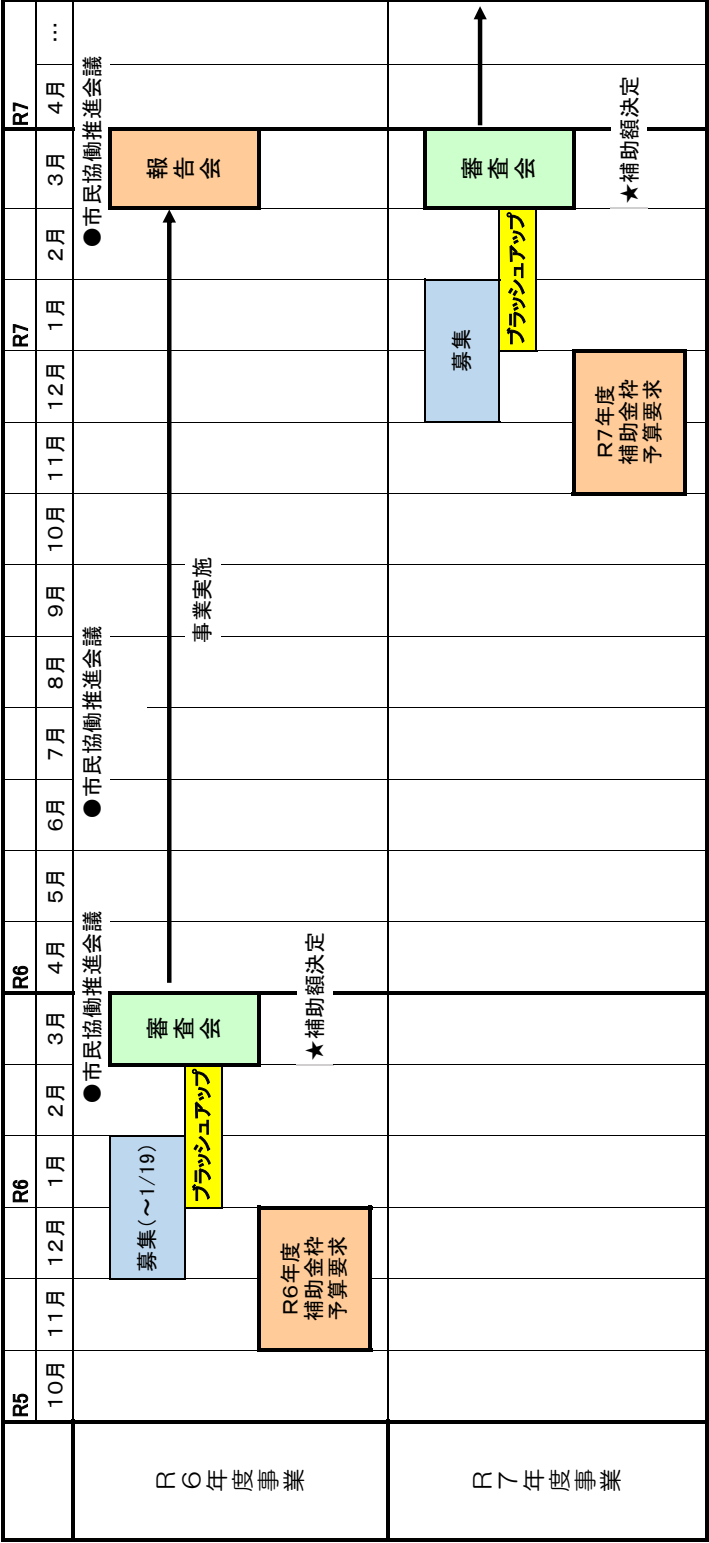
■地域自治振興事業（特別事業）について

項 目	内 容
目 的	自治振興会が市と協働で取り組むことができる公益的な社会貢献活動で、地域住民の参加のもと、地域の特性を活かし、地域住民の福祉の向上が期待できる事業。
対象団体	地区自治振興会（17団体）
要 件	通常交付金ではできない地域の特性を活かすハード・ソフト事業
補助率	事業費（補助対象経費）の5分の3以内 ※後継者の育成や青年・女性層、外国人の参画に資する事業は5分の4以内
補助限度額	ハード事業・ソフト事業／100万円

【協働たねまる活動補助金、地域貢献活動支援補助金】審査会、報告会スケジュール



【地域自治振興事業 特別事業】審査会、報告会スケジュール



R 7 年 度 事 業

①地域貢献活動支援補助金

【市民団体】

No.	団体名	事業名	交付(予定)額 /事業費	事業概要	取組み成果
1	一般社団法人 武高37オレンジズ	UIJターン促進のためのSNS活用プロジェクト事業	96,000円 /167,000円	①ウェルビーイングを推奨し、普及活動を行っている専門家を招いて、ウェルビーイング構想の視点から、『広域地区の地域づくりの課題や可能性について』及びウェルビーイングに関する講演会を開催し、居住者や企業・団体関係者にPRする広報や普及活動を行う。 ②人生の転換期を迎える県外の若者に向けて、広域地区の居住者や企業の幸せ実感の生活スタイル等を紹介する動画等を作成し、Instagramで情報発信を行う。 ③活動に共感してもらえる地区内の団体・企業と連携を図り、団体・企業の広報(SNS)に掲載協力をポスター、チラシ等通じて依頼し、活動の輪を広げる。 ④UIJターン希望者からの地区内就職先企業を紹介する活動をサポートする。	24.7～25.3 ・広域地区居住者や企業のウェルビーイングの生活スタイル等を紹介する動 画等の作成 ・Instagramで情報発信 ・地区内の団体・企業と連携を図り、広報(SNS)に掲載協力を依頼 ・UIJターン希望者からの地区内就職先企業を紹介する活動をサポート 24.7～10 講演会及び当会の活動をポスター・チラシ等で宣伝 24.10.26 講演会開催
2	Fun Empathy (ファンエンパシー)	たけふを歩こう2024 ～まちなか今昔謎解き編～	62,000円 /140,000円	中心市街地を歩き、パンフレットを見ながら謎解きをしてもらう。謎解きの内容は中心市街地の昔と今の魅力(歴史や飲食店など)を伝えるものとする。 また、謎を解きながら、各スポットで写真を撮ってもらい、謎解き体験の思い出を残せるパンフレットも作成してもらう。 謎解きやポルトガル語対応パンフレットなどの新たな要素を加えたイベントを実施する。	24.7～9 謎解き作成 24.10.20、27 事業実施
3	武生センター合唱団	武生センター合唱団 創立50周年記念第42回定期演奏会	100,000円 /840,000円	創立50周年を迎えることから、多くの市民の皆様と共に歌う合唱団を組織し、記念コンサートを行う。 また越前市を中心に活躍する音楽家を招き、合唱構成「ぞうれっしゃがやってきた」を発表する。 第1部は合唱団演奏、第2部では、みんなで歌いましょうのコーナーを設け、歌う楽しさを感じてもらう企画を実施する。	24.1～10 合唱練習 24.11.4 定期演奏会開催

令和6年度事業 報告会 報告対象事業一覧

【学生団体】

No.	団体名	事業名	交付(予定)額 /事業費	事業概要	取組み成果
1	ふくいSMILEアクティ部	高校生による越前市活性化事業	100,000円 /100,000円	越前市公認のVtuberユニットである「越前クロニクル」とコラボしたイベントを開催する。イベント内容は、福井県や越前市に関するクイズ大会や、ライブ、トークショー、ブース展示等。来場者に積極的にSNSで発信してもらうことで、市の魅力も県内外に発信し、Vtuberの周知につなげる。本事業をとおして、来場者に越前市の魅力をアピールすることで、越前市をより好きになってもらい、市外からの来場者には越前市の知らなかった魅力を知ってもらうことを目指す。	24.7～9 日時、開催場所の決定 24.10～11 タイムテーブル決定、ポスター政策等 24.11～12 リハーサル、イベント本番(12.28)
2	仁愛大学 織田ゼミ	にじいろ絵本プロジェクト ーブックトークを通して学ぶ性の多様性ー	100,000円 /100,000円	近年、性の多様性に関する問題意識が高まっており、越前市でも同性パートナーシップ制度が導入され、小さいうちから性の多様性について知っておく必要がある。越前市で性の多様性に関する活動に取り組む団体へのヒアリングを行い、現状や課題を明確化する。また、先行事例の調査や性の多様性について知るための勉強会を行う。様々なLGBTQ+の問題に関する絵本の収集や展示する絵本のPOP作成など、子供とその親の性の多様性への知識の浸透に向けて、イベントを開催する。資料の展示やブックトーク、ワークショップを実施する。	24.6 関連団体のイベント参加 24.7～ 調査 24.8 POPなど展示物制作 24.11.17 イベント実施 24.11～25.3 フィードバック
3	仁愛大学 野村ゼミ	家庭における災害食備蓄推進プロジェクト	100,000円 /100,000円	防災備蓄をしていない人に向けて、市販災害食の展示紹介や試食会を実施する。本事業を通して気軽に備蓄を始めてもらうことで、家庭での防災備蓄率の増加を目指す。また、市販災害食では食塩相当量が通常の献立よりも多いことがこれまでの調査で明らかになっており、災害避難中は塩分摂取過多になっていると見込まれる。災害時でも適正な塩分を摂取できるような減塩災害食を開発し、普及する。減塩災害食の試作・製造および試食アンケート調査を実施する。	24.7 市販災害食データの収集 減塩災害食のレシピ試作 24.8～9 市販災害食データベース構築 減塩災害食の製造 24.10 大学祭(世灯祭)にて市販災害食展示・試食会、減塩災害食・アンケート調査実施 24.11 アンケートデータ分析等
4	福井県立武生商工高等学校 電気情報科	クレーンゲーム製作と地域交流	100,000円 /100,000円	部品から全て自分たちで製作したクレーンゲームを越前市内のイベント(越前市ものづくりフェスタ、商工デパート等)に出店する。子ども達を中心に楽しんでもらうとともに、ものづくりへの興味を持ってもらうことを目的とする。クレーンゲームには独自のコインを製作し無料でプレイできるようにする。高校生でも製作可能という事を認知してもらい、ものづくりを身近に感じてもらい、将来の進路選択につなげる。	24.4～8 制作 24.9 越前市ものづくりフェスタ出店 24.10 武生商工デパート出店 24.10～12 地域のイベント、お祭り等に出店
5	福井県立武生東高等学校 第2学年 チーム「伝統工芸品」	Hino・Quest Happy Project 2024 越前市を中心とした地域活性化のプランの立案と実践 実践プランその1「伝統工芸品の魅力を家族層に知ってもらおう share×link ～伝統と今を繋ぐ架け橋に～」	100,000円 /100,000円	越前市で行われているイベントや団体と越前筆笥と越前和紙、越前うるしを組み合わせ、伝統工芸品の魅力を家族層に知ってもらう。小柳筆笥、越前和紙の里、越前うるしの里会館等でフィールドワークを行い、さしもの技術を学ぶ。千年未来工芸祭にてさしもの技術を活かしたストラップを製作するワークショップを実施。ワークショップ参加者に伝統工芸品の魅力について伝え、知ってもらうことで越前市との関わりを深めてもらう。	24.8.25 千年未来工芸祭出店 24.10 たけふ菊人形出店 24.11 RENEW出店 24.12～1 振り返り 25.3.21 探求学習発表会(予定)
6	福井県立武生東高等学校 第2学年 チーム「スイーツ×六条大麦」	Hino・Quest Happy Project 2024 越前市を中心とした地域活性化のプランの立案と実践 実践プランその2「スイーツを使った福井県産の六条大麦のPRのプランの立案と実践」	100,000円 /100,000円	福井県は六条大麦の生産量が全国一位だが、それを知っている県民は多くはない。知名度を上げるために、手軽で親しみやすいスイーツであるドーナツを福井県産の六条大麦を使用して作り、越前市内のイベント等で販売しPRする。まずは学校祭の模擬店にて販売し、改良を重ねる。その後は菊人形や越前たけふ駅の道の駅等でも販売し、訪れた人にPRする。最終的には、県外の人にも福井県産の六条大麦を広めることを目指しているが、その前段階として、県内の人に六条大麦について知ってもらうために本事業を行う。	24.8 六条大麦のドーナツ作り 24.9 ・校内の購買で模擬販売 ・ドーナツの改善 24.10 たけふ菊人形出店 24.11～12 振り返り 25.3.21 探求学習発表会(予定)
7	福井県立武生東高等学校 第2学年 チーム「B級グルメ」	Hino・Quest Happy Project 2024 越前市を中心とした地域活性化のプランの立案と実践 実践プランその3「福井の特産品を使用した越前市のB級グルメ(ボルガライス)を広めよう」	100,000円 /100,000円	県内外の人に福井県の食材の良さを知ってもらい、食べやすさ、美味しさ、面白さを取り入れたB級グルメを販売し、地域活性化につなげる。ボルガライスをバフェの容器に盛り付けた、「ボルガバフェ」を開発し、提携先に製作を依頼する。紅しきぶ、越前しきぶなす、コウノトリ米、白山ポーク等、越前市産の食材を使用する。たけふ菊人形にて出店し、購入者に福井県産の食材をPRする。	24.7 フィールドワーク 24.8～10 試作・試食、アンケート実施 24.10.15 新作ボルガライス試食会 24.12～25.3 振り返り 25.3.21 探求学習発表会(予定)
8	福井県立武生東高等学校 第2学年 チーム「飲もっさ！食べよさ！楽しもっさ！withだるまちゃん」	Hino・Quest Happy Project 2024 越前市を中心とした地域活性化のプランの立案と実践 実践プランその4「飲もっさ！食べよさ！楽しもっさ！with だるまちゃん」	100,000円 /100,000円	1年次に武生東高校生徒を対象に「将来越前市に住みたいか」というアンケート調査を行ったところ118人中81名が「いいえ」と回答した。理由の一つとして「楽しめるところが少ない」という意見に焦点をあて、同世代の自分たちが人気、親しみのある食材を用いて、楽しめる機会をつくり、交流、活性化に繋げる。越前市の中でも来訪者数の多いダルマちゃん公園を利用し、子ども、家族世代だけではなく、若い世代にだるまちゃんとふれあいあうことができ、楽しめる場を提供する。 同世代に親しみのある食べ物、ハンバーガーとフラッペを組み合わせたメニューや、だるまちゃんをモチーフにした、食べ物につけるカップや旗を製作し、菊人形で販売する。	24.7 試作 24.9 学校祭にて試験販売 24.10 たけふ菊人形出店 24.11～12 振り返り 25.3.21 探求学習発表会(予定)

②地域自治振興事業 特別事業

No.	団体名	事業名	交付(予定)額 /事業費	事業概要	取組み成果
1	王子保地区自治振興会	「シン・王子保駅」 ～無人駅リニューアルで地域活性化～	1,000,000円 /1,500,000円	「王子保駅」を活用し、地域の人々が気軽に立ち寄れる、立ち寄りたくなるスペースを創造することで、地域にコミュニケーションを復活させコミュニティを創造し、地域そのものの魅力や地域でのいろいろな活動を通勤通学の若い人たちにPRし、意識づけ、参画を促す。 ・キッチンカーの設置、自習、ミーティング等ができる多目的スペースの整備 ・展示、ギャラリー、PRブースの整備 ・イベントの開催(音楽会、ミニコンサート、朝市・マルシェ、フリマ)	春季 花壇撤去に向けた準備作業(整理整頓、廃棄物処理) 9月 花壇撤去・駐車場整備工事 9/21 王子保駅改修記念イベント 12/8 駅舎イルミネーション点灯式イベント 1/26 新年会イベント(公民館) 高校生×地域住民
2	味真野自治振興会	「味真野茶普及促進事業」	316,000円 /535,000円	歴史のある「味真野茶」について、2024年で味真野茶もみ唄全国コンクールの15周年となることを契機とし、茶もみ唄の講習会やお茶の茶摘み体験等の活動を通じて、味真野茶の普及促進に取り組むことで、味真野茶の一層の振興と地域の伝統的文化の継承、地域の活性化を図る。 ・茶摘み・茶揉み体験、美味しいお茶の淹れ方講座の開催 ・茶もみ唄コンクール過去大会の最優秀者を対象としたチャンピオン大会の開催 ・味真野茶もみ唄の講習会と保育園児の指導 ・イベント等での味真野茶のふるまい ・茶摘み、茶揉みの様子の映像制作	5/9 味真野茶もみ唄広報番組出演 5/11, 18, 19 茶摘み体験開催 5/19 茶揉み、淹れ方講座開催 10/3, 16 味真野茶もみ唄講習会(一般) 10/17, 18, 21, 30, 31 味真野茶もみ唄指導(保育園児) 11/2 第15回茶もみ唄全国コンクール開催 11/9 茶文化講座開催
3	南中山地区自治振興会	「スポーツの力で、地域を元気に！」 ～地域の未来は、私たちの手で創る～	684,000円 /855,000円	2024年はパリオリンピックの開催年で、南中山地区はフェンシング競技金メダリストの見延選手の出身地区でもあることから、子どもから大人までの幅広い層を対象に地域全体で、選手の応援イベントやスポーツ学習活動に取り組むことにより、住民同士の交流の機会を作り、地域一丸となって「連帯意識」「郷土の誇り」を生み出し、地域活性化を図る。 ・選手の応援イベント、壮行会、フェンシング体験等の開催 ・選手を登場させた応援動画、五輪関係のPR動画を作成公開 ・懸垂幕・横断幕・幟旗等を地域内多数設置 ・SNSを活用した効果的なPR、広報活動の実施	5月～6月 地域内や施設に応援幟旗、懸垂幕の設置 見延選手への寄せ書きの作成 6/16 市壮行会への協力(チアダンス披露、幟旗等での会場飾り付け) 8/2～3 団体戦パブリックビューイング (赤米のふるまい、応援グッズの配布) 8/31 市見延選手報告会への参加 9/2 見延選手 小中学校訪問サポート 9/27 見延選手フェンシング体験交流(@南中山公民館) 10/6 げんきフェスタ展示 (ブースにて地区PR動画放映、見延選手グッズ展示) 3/2【予定】 南中山体操(仮称)の製作・お披露目 3/15【予定】 フェンシングおもしろ体験会(@南中山公民館)

市民団体補助事業／地域自治振興事業特別事業 報告会について

1 進め方

プレゼンテーション（質疑応答含む）の内容を踏まえ、「市民協働推進会議」委員を中心として構成された審査員が報告を受けます。

2 採択基準

報告案件では審査（採点）を行いません。

審査員は、活動の評価や今後の取組みへの助言などのコメント記入を行います。

後日、コメントを整理して実施団体に書面で通知します。

3 プレゼンテーション・質疑応答（10分＋5分）

・審査員及び参加者を聴衆に、1団体10分間のプレゼンテーションをしていただきます。

※発表時間は、短くても7分以上お話しいただきますようお願いします。

・プレゼンテーションでは、次の内容を説明してください。

- | | |
|------------------|-------------------|
| ●自己紹介、団体の紹介（簡潔に） | ●事業の進め方（スケジュールなど） |
| ●事業の内容・成果 | ●決算の説明（詳細に） など |

・プレゼンテーション終了時間の3分前に1回、1分前に2回、ベルを鳴らします。

・プレゼンテーションのあと、審査員から5分程度の質疑応答があります。

4 実施事業の検査

採択され実施された事業の進捗と完了の検査は、実績報告書（所定の書面）に基づき市民協働課が行います。報告会の内容は補助的に活用されます。

なお、報告会時点で当年度分の事業が完了していない場合は、完了次第実施します。

令和7年度事業 審査会 審査対象事業一覧

①協働たねまる活動支援事業 【2年目事業(1年目事業の実施報告含む)】

団体名	事業名	交付額 /事業費	概要
NPO法人 越前市障がいスポーツクラブ	外部指導者による総合型地域スポーツクラブの発展	【2年目】 円 / 円 【1年目】 240,000円 /400,000円	【2年目(R7)事業概要】 内部指導者の育成を継続して行う。また、日本ソーシャルフットボールクラブ協会へ登録を行い、国内大会にも参加していくことで、NPO法人障がいスポーツクラブの名を広めメンバーの確保やスポンサーの獲得を行っていく。 【1年目(R6)実施状況】 越前市初のソーシャルフットボールクラブの立ち上げに際し、外部指導者を導入。指導方法を学びながら自団体の指導者を育成し、育成した指導者を他団体に派遣することで、市内の総合型地域スポーツクラブの交流による活性化や人材育成を図る。

②地域自治振興事業 特別事業

団体名	事業名	交付額 /事業費	概要
坂口うららの町づくり振興会	坂口おでかけと食によるつながりあう 地域づくり整備事業	1,000,000円 /1,250,000円	坂口地区住民の移動手段である『うららのりねえ～のGO!!』の設置場所を整備し、移動支援事業の協力者の円滑な活動を促す。 また、地域特産をPR・販売するための拠点となる特売所を整備・活用し、食を通して地域の魅力を再発見したり、対外的な交流を推進させる。 ・移動支援車両の設置場所の整地・工事 ・坂口校と連携した魅力発信のチラシ作成などのPR活動 ・公民館と協働してイベントを開催(地区内外の方に坂口地区での移動支援活動や特産品をPR) ・地元の若い世代を対象に行事食を伝えるイベントの開催
北日野地区自治振興会	岩内山登山道整備事業	1,000,000円 /1,500,000円	北陸新幹線越前たけふ駅を望む岩内山の登山道を整備し、子どもからお年寄りまで誰もが気軽に登山を楽しむようにする。R7年度は登山道入り口から展望台がある分岐点までの登山道を整備する。岩内山を越前たけふ駅への観光客誘客の一助とするとともに、登山を兼ねた古墳群の勉強会や村田製作所研究施設の見学等と併せ、子供たちの学習の場としたい。 ・階段の設置 ・落ち葉で滑らないように瓦くずの敷設 ・勾配が急な箇所へのロープ張り ・古墳に関する勉強会の開催
しらやま振興会	白山地区の魅力度アップ事業	1,000,000円 /1,500,000円	若者の地域への愛着を醸成し、人口流出を防ぐ目的で、勝蓮華の滝の広場整備及び周辺観光スポットのルート整備をし、小中学生対象の観光ルート周遊ツアーを行う。 また、後継者育成や伝統継承等の観点から白山地区の語り部を発掘・育成を行う講座をし、ツアーのガイド等を担ってもらう。 ・勝蓮華の滝広場整備(ベンチの設置等) ・観光ルート整備(案内看板及びスポットの説明看板(QRを読み込むと読み上げる式)設置) ・白山地区の語り部育成講座の開催 ・小中学生対象の観光ルート周遊ツアーの開催

協働たねまる活動補助事業 審査方法について

1 進め方

プレゼンテーション（質疑応答含む）の内容、審査申請書の内容を踏まえ、「市民協働推進会議」委員を中心として構成された審査員が、審査項目について採点をします。

2 採択基準

下記のすべての採択基準を満たした事業の中から、審査員の意見を踏まえ、市が最終的な補助事業を決定します。

○ 各審査項目（5項目）の得点率が6割以上であること。

※申請数によっては、採択基準を満たしていても補助対象事業とならない場合があります。

3 審査項目

別表のとおり

4 プレゼンテーション・質疑応答

・審査員及び参加者を聴衆に、プレゼンテーションをしていただきます。

1年目審査の場合	プレゼンテーション10分 質疑応答10分
2年目・3年目審査の場合 （※前年の実施報告を含む）	プレゼンテーション15分 質疑応答10分

※発表時間は、短くても7分以上お話しいただきますようお願いします。

・プレゼンテーションでは、次の内容を説明してください。

●自己紹介、団体の紹介（簡潔に）	●事業の進め方（スケジュールなど）
●事業の目的・内容・期待される効果	●予算の説明（詳細に）など

・プレゼンテーション終了時間の3分前に1回、1分前に2回、ベルを鳴らします。

・プレゼンテーションのあと、審査員から10分程度の質疑応答があります。

別表

審査項目	評価の視点	点数
① 公益性・ニーズ	・社会貢献活動として、事業が市民や地域に還元される内容ですか。	1～5
	・地域課題を踏まえ、市民や地域のニーズを的確にとらえた事業ですか。	
② 協働性	・協働によって事業がより効果的、効率的に実施でき市民サービスの向上が期待できますか。	1～5
	・提案者と市との役割分担は明確で適切ですか。	
③ 計画性・実現可能性	・事業の目的・目標・効果が明確で、具体的な事業ですか。	1～5
	・事業の計画（スケジュール等）、資金計画、実施体制が実現可能ですか、また、事業へ取り組み姿勢に、熱意を感じられますか。	
④ 発展性・継続性	・一過性ではなく、事業の継続的発展に向けた展望がありますか。	1～5
	・この事業を機会に、市民活動及び地域活動が発展する可能性や、効果の広がりが期待できますか。	
⑤ 独創性・先駆性	・企画の独創性、地域的特性に配慮した事業ですか。	1～5
	・今後の協働事業のモデルとなるような先駆性のある事業ですか。	

評価	特に優れている	優れている	普通	あまり良くない	良くない
点数	5	4	3	2	1

地域自治振興事業特別事業 審査方法について

1 進め方

プレゼンテーション（質疑応答含む）の内容、審査申請書の内容を踏まえ、「市民協働推進会議」委員を中心として構成された審査員が、審査項目について採点をします。

2 採択基準

下記のすべての採択基準を満たした事業の中から、審査員の意見を踏まえ、市が最終的な補助事業を決定します。

- 各審査項目（8項目）の得点率が6割以上であること。
- 得点率6割未満の審査員が2人以上いないこと。

※申請数に応じて、採択基準を満たしていても補助対象事業とならない場合があります。

3 審査項目

別表のとおり

4 プレゼンテーション・質疑応答（10分＋10分）

- ・審査員及び参加者を聴衆に、1団体10分間のプレゼンテーションをしていただきます。
- ・プレゼンテーションでは、次の内容を説明してください。

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ●自己紹介、団体の紹介（簡潔に） | ●事業の進め方（スケジュールなど） |
| ●事業の目的・内容・期待される効果 | ●予算の説明（詳細に）など |

- ・プレゼンテーション終了時間の3分前に1回、1分前に2回、ベルを鳴らします。
- ・プレゼンテーションのあと、審査員から10分程度の質疑応答があります。

別表

項目	審査内容	得点	ウェイト
(1) 公益性	広く地区住民の共感が得られる事業であるか。	／5	
	地域の社会的課題につながる事業であるか	／5	×2
(2) 協働性	地区住民や各団体の相互連携を促進するきっかけづくりになる事業であるか。	／5	
	また、必要に応じて企画の段階で行政・関係団体と協力できたか。	／5	
(3) 実行性	広く地区住民や関係団体が参加することができ、世代間での幅広い交流や協力が図られる事業か。	／5	×2
	事業実施期間内に事業を完了させることが出来るスケジュール及び事業量か。	／5	
	事業内容に対して、予算が適正か。	／5	
	事業にかかる成果が期待できる協力体制を確保できているか。	／5	
(4) 継続性	事業の発展や継続的な展望が期待できる事業か。	／5	
(5) 特別性	その地区でしかできない事業であるか。	／5	×3
(6) ブラッシュアップ	アドバイスを生かし、よりよい事業となっているか。	／5	×2
(7) 全体の整合性	事業目的を実現するための手段や方法等が適切であり、事業を構成する各要素がお互いに合理的につながっているか。	／5	×3
(8) プレゼンテーション	プレゼンテーションにおいて、事業を的確に説明できたか。また、質疑応答が的確であったか。	／5	×2

交付金加算 (いずれかの 該当項目)	・地域の若者の成長や地域社会への参画につながるか。 ・地域の女性の地域社会への参画につながるか。 ・地域の外国人の地域社会への参画につながるか。	／5
--------------------------	--	----

採点基準		考え方
5点	加点	審査事項を満たす提案が非常に優れている
3点	基礎点	審査事項を満たす提案がある場合
2点	減点	審査事項について、内容に不明確な点がある場合
0点	減点	審査事項に係る判断ができない、または審査事項が求める内容が期待できない場合

越市協第1431号
令和7年2月12日

坂口うらの町づくり振興会
会長 山岡 登志男 様

市民協働課長 津田 勝秀

令和7年度地域自治振興事業（特別事業）ブラッシュアップ結果について

過日、実施いたしました標題の件について、有識者からアドバイスがありましたので、下記のとおり通知します。

つきましては、アドバイスを参考に事業概要調書の修正をご検討ください。なお、修正される場合は2月21日（金）までにご提出をお願いします。

記

事業名	「坂口おでかけと食によるつながりあう地域づくり整備事業」
有識者からの アドバイス	・事業背景として、本特別事業の前提となる移動支援事業に関して（特に移動支援車両の運用実態について）もう少し具体的な説明があるとよい。 ・「特売所」は地区内外の誰を想定利用者（顧客）とした事業なのか明確にする方がよい。また、特売所のニーズがどれくらいあるかを地区内だけでも事前に把握できるとよい。 ・移動支援車両での移動中に交流できる何か楽しい企画があるとよい。 ・「食によるつながり」であれば、販売するだけでなく、食に関するイベントを盛り込むとよい。 （例：若い世代に行事食を伝えるイベント など） ・車庫90万円がどのようなものなのかが不透明なので、もう少し具体的に示してほしい。（造りや規模感など）

※アドバイスの事業計画への反映状況が審査基準のひとつとなります。

【問合先】越前市市民協働課 前田
電話：22-3293

越市協第1431号
令和7年2月12日

北日野地区自治振興会
会長 杉本 一彦 様

市民協働課長 津田 勝秀

令和7年度地域自治振興事業（特別事業）ブラッシュアップ結果について

過日、実施いたしました標題の件について、有識者からアドバイスがありましたので、下記のとおり通知します。

つきましては、アドバイスを参考に事業概要調書の修正をご検討ください。なお、修正される場合は2月21日（金）までにご提出をお願いします。

記

事業名	「岩内山登山道整備事業」
有識者からの アドバイス	・登山道整備して終わりではなく、継続的にどのように維持管理、事業活用していくかなど、長期的な見通しが立てられるとよい。 ・新幹線駅から近いという立地を活かして、県外の観光客を取り込むという視点をもっと入れられるとよい。 ・整備して登山客に来てもらうだけでなく、地区に消費が落ちる仕組みができるとより効果的である。 （観光客や地元客に岩内山登山を選択するインセンティブを与える ＋下山後、道の駅等で消費行動） ・今回の整備を終えた時点で、一度、登山イベント（あるいは岩内山からの風景写真コンテストなど）を企画して、登山者からの意見を集めると次の整備事業につながるのでは。 ・古墳等については、登山客が看板に記載したQRコードで読み込めばいつでも説明が見られるというような工夫ができるとよい。

※アドバイスの事業計画への反映状況が審査基準のひとつとなります。

【問合先】越前市市民協働課 前田
電話：22-3293

しらやま振興会
会長 橋本 弥登志 様

市民協働課長 津田 勝秀

令和7年度地域自治振興事業（特別事業）ブラッシュアップ結果について

過日、実施いたしました標題の件について、有識者からアドバイスがありましたので、下記のとおり通知します。

つきましては、アドバイスを参考に事業概要調書の修正をご検討ください。なお、修正される場合は2月21日（金）までにご提出をお願いします。

記

事業名	「白山地区の魅力度アップ事業」
有識者からの アドバイス	・本年度の特別事業の背景として、過去に取り組んだ事業と今回の事業のつながりを示すことで、全体的な視点での地区としての狙いがみえるとよい。 ・魅力度アップだけでなく、地区内に消費が落ちるところまで流れを作るなど、地区の魅力を収益につなげられると事業の自立性や持続性を確保できるのでは。 （例：地区特産品の通信販売、ふるさと納税の返礼品等） ・パンフレットで（名所だけでなく）地区内で生産される特産品も紹介して、QRコードで特産品の通販サイトなどに誘導することはできないか。 ・ホームページはもう少し費用を抑えて整備することも可能だと思うが、20万円かける理由を具体的に示してほしい。

※アドバイスの事業計画への反映状況が審査基準のひとつとなります。

【問合先】越前市市民協働課 前田
電話：22-3293

公開審査会・報告会 タイムスケジュール（仮）

職員集合		
8:00	会場準備	市民プラザたけふ
審査員集合		
9:30	事前説明	3階 大会議室2
開始		
9:50	座長挨拶、進行説明	4階 多目的ホール
10:00	特別事業【R6報告】 3団体 15分×3=45分	
	特別事業【R7審査】 3団体 20分×3=60分	
11:45	休憩	
11:55	たねまる【R7審査（2年目）】 1団体 20分	
12:20	審査結果協議 10分	3階 大会議室2
12:30	昼食休憩（用意あり）	
13:00	地域貢献（市民団体）【R6報告】 3団体 15分×3=45分	4階 多目的ホール
13:45	休憩	
13:55	地域貢献（学生団体）【R6報告】 4団体 15分×4=60分	
14:55	休憩	
15:05	地域貢献（学生団体）【R6報告】 4団体 15分×4=60分	
16:10	終了	